

そよかぜ

1月園便り



令和3年1月4日（月）

西東京市立そよかぜ保育園

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

昨年は未曾有の事態に見舞われて、いつもとは違う生活を送りましたが、子どもたちはどんな状況下においてもたくましく健やかに成長していて、こちらの方が元気と勇気をもらいました。

2021年も子どもたちの笑顔輝く一年になりますように！

子どもたちの笑顔...それは私たちの一番の原動力。赤ちゃんの頃からその笑顔を引き出そうと私たちはいろいろな遊びを通して働きかけています。そんな遊びの中でも特筆すべきは「いないいないばあ」。

子どもは皆大好きで、「ばあ」と顔が出たとたん満面の笑みで応えてくれます。

昨年3歳クラスの懇談会でも少しお話しさせてもらったのですが、「いないいないばあ」には子どもの発達に欠かせない大切な要素がたくさん含まれています。

- ① 必ず相手がいてコミュニケーションに繋がる
- ② 期待感が育つ
- ③ 予測する力・見通しを持つ力に繋がる第一歩
- ④ 記憶力も育つ

赤ちゃんの時にまずは一番身近にいるお母さん・お父さん、そして保育園に来ているお友達は先生が「いないいないばあ」とやります。はじめは大好きな人の顔が隠れてしまうので不安になりますが、「ばあ」で出てきた時に安心します。繰り返すうちに赤ちゃんは「また大好きなあの顔が出てくるぞ」と記憶すると同時に「出るぞ出るぞ」と期待してドキドキワクワクしながら待っています。そして「ばあ」で自分の予測した通りの顔が出てきたことで「ほら、やっぱり」と安心するんですね。

ここで既に少し先の未来に対して、見通しを持つ力が育っていくことに繋がっていくわけです。「いないいないばあ」素晴らしいです！

最後に「ばあ」と顔を出した時にしっかりと目と目を見合わせて微笑みを交わすことがまた大切です。安心できる大人と「楽しいね」という共感の心地よさも育ちます。

この「いないいないばあ」が後々「まてまてあそび」「かくれんぼ」「おにごっこ」などに繋がっていきます。

これだけ優れた遊びは世界共通。

アメリカ「ピーカ・ブー」 ドイツ「グーグス ダーダッ」 イタリア「バオバオ シェッテ」
フランス「カシュカシュ クークー」意味は皆さんそれぞれにお調べください。

これからも笑顔の中から子どもたちの育つ力をたくさん引き出していきたいと思います。

職員の体制についてのお知らせ

にしやまあや
12月15日から西山綾保育士が1オクラスに入りました。

いしぐろりか
1月4日より契約を開始した石黒里佳保育士が入ります。

クラス通信



子どもは風の子元気な子！とばかりに、散歩先では自分たちの行きたい場所へトコトコやハイハイで行き探索活動開始！「いない いない ばあ〜」と木の陰に隠れたり、大人とのまてまて遊びなど、活発な動きが増えてきて、“早く追いかけて〜” とばかりに大人の顔を見ながら走って逃げて、最後は抱っこして満足顔の子どもたちです。

寒さが厳しくなり、池には氷が張ります。その氷を大人が取って、みんなが触ってみると、“冷たい”や“これは何？”と言った様々な表情が見られましたよ。これからも寒さに負けず冬ならではの遊びをたくさんしていきます。

新しい1年が始まりました。生活リズムが崩れやすい時期でもあるので、規則正しい生活を心掛けましょう。

池に氷がはった寒い日。大人が氷を取ってみんなで見せると不思議そうな表情に。触ってみると「つめたい、つめたい」と言ったり、持った氷を池に投げ込むと凍った池の上を滑っていき、様子を見ては「すごい、すごい」と貴重な体験をした散歩でした。

どんどん寒くなりますが、体をたくさん動かして遊んだり、冬ならではの自然に触れる機会も楽しみにしています。



風が冷たく、あっという間に冬ですね。寒くなってきたのでリズムをして身体を温めてから散歩に出掛けています。

先月は少し足を伸ばして、初めて**花公園**まで…大きな滑り台があるので「一緒に滑ろう！」と大人の両隣にくっついたり、お友達と「せーの」と声を掛け合ったりして滑り、繰り返し楽しんでいたすずめ組です。また、斜面で大人と追いかけて、葉っぱの中でかくれんぼなどたくさん身体を動かし、暑くなると一枚脱いで体温調節をしています。

寒さに負けず、今月もたくさん散歩に出掛けて遊んでいきます。



「上着、着る〜？」と聞きながら散歩の準備万端。西友裏の池に行くと氷が張っていました。「氷とってよ！」と言われ、「まって、まって、池に落ちちゃうからあ」と言いながらそ〜っと氷を取ると、「ちょうだい、ちょうだい」「つめた〜い、つめた〜い」と大騒ぎ。次の日も「氷はっているかな？見に行こう」と出かけ氷を取って手渡すと、“**“ばばば〜ちゃんのアイスパーティー”**みたい”という声にびっくり！夏に読んでいた絵本そのものだったのです。子ども達の実体験が絵本とピタッと結びついた瞬間でした。

ひばり組の事始め！！凧を作って大空に飛ばし元気に走り回ります。どんな凧が出来るかはお楽しみに。





寒さの厳しさが増す中、頬や鼻を赤らめながらも元気に過ごしているつばめ組。12月はイベント盛り沢山で、寒さに負けず毎日楽しく過ごしました。クリスマスまで「後〇日寝たら…」と指折りに胸を躍らせている様子が印象的でした。

年末、お正月と楽しく過ごした話が聞けるのを楽しみにしています！

今月は凧作りをして外で走り回って遊んだり、コマ回しに福笑いなどお正月遊びを満喫していきます。

12月は寒さが厳しい日もあったので、散歩先に着くと、まずはマラソン。小さな目標を設定して走り出すみんなですが、3、4周ではあっという間！「じゃあもつと行ってくるね～」と再び走り出していつの間にか10周以上！身体もぼかぼかです。荒馬座や大根掘りで保育園から現地まで歩いていく機会もあり、「明日は〇〇に行くんだよね！」と楽しみにする姿が見られていましたよ。

今月もリズム遊びや散歩を通してたくさん体を動かして遊ぶと共に、クリスマスプレゼントで貰ったコマで遊んだり、凧揚げをして、お正月遊びも楽しみます！



年長 はやぶさ組の様子です

凧作りは障子紙に絵を描き、
絵の具で塗っています



クリスマスにサンタさんからもらった
“ひも独楽”に何度も挑戦！！



1月 園行事のお知らせ

7日（木）5才七福神巡り

22日（金）避難訓練

8日（金）鏡開き

26日（火）誕生会

14日（木）布団乾燥

28日（木）4.5才味噌作り

☆ HP 情報

毎週金曜日+園行事の際に更新していますので、是非ご覧ください。

新春のお慶びを申し上げます 今年も宜しくお願いいたします。

♪ おおさむ こさむ やまから こぞうが とんできた
なんとってとんできた
さむいって とんできた ♪

正月

年神様をお迎えし、旧年の豊作と平穏を感謝し、あわせて今年の豊作と平安を祈願する日五穀豊穰と平穏を願い、餅やおせちを神への供物としてささげ、お雑煮にして頂き、幸多きとなることを家族みんなで願います。

小正月

七草粥（せり なずな ゴギョウ ハコベラ ほとけのぎ すずな すずしろ）を頂いて、一年の邪気を払い豊作と平穏を祈願するものです。また正月にご馳走を頂いて少し疲れた胃腸を休める効果もあると、言われています。

「寒い冬 下へ下へと根を伸ばせ やがて大きな花をつける」

ある時見つけた言葉です。じっと耐えながら 体力をつけ、春を待ちましょう。

絵本のすすめ

家庭で過ごす時間が増え、子どもと一緒に絵本を読む機会も増えたことでしょう。

親子で気分転換し、楽しいひと時にしてみませんか。

お母（父）さんの優しい声の響き。その声から伝わる美しい日本語。食い入るように見つめる目。描かれている小さなものを発見！世界の広がる瞬間です。

言葉は思いを深め、考える力を育み 自分の気持ちを伝える手立てとして育っていきます。言葉が豊かになると、お友達との関係も豊かになり、「いっしょね！」「おんなじ・おんなじ」・・・イメージもより膨らんでくることでしょう。文字が読めるようになってもしっかり読んであげましょう。絵本を読んでもらう時間 それは身体も心も大好きなお母（父）さんに抱きとめられ、甘えられ、丸ごとの愛を感じられる貴重な時間なのです。

良い年になる事を願って、今年もみんなで力を合せ、子育てを楽しみましょう。

職員のつぶやき

肌寒くなり、本格的に冬が始まりました。この季節になると、よく故郷を思い出します。

私の故郷は福島です。春になると桜が満開になり、夏になると緑が辺り一面を覆い、秋になるとイチョウや山菜が実り、冬になると真っ白な雪が積もります。季節の表情が豊かで、私のだいすきな場所です。

私は、子どもたちに故郷をだいすきな、特別な場所にしてほしいと思っています。

いつでも帰ってこられる場所、懐かしい場所、思い出がたくさん詰まった場所……。それはどんなことでもいいです。

今、コロナウイルスの影響で帰省が出来ない為、とても寂しい気持ちですが、毎日子どもたちのかわいい笑顔や元気な姿と、職場の先生方に励まされています。早くコロナウイルスが収まり、今までのような生活に戻れることを願っています。